

考えたことはありますか？

岳南中学校

三年

吉村

星遼

みなさんは山に登るとき、どこを通りますか。

か。十人に訊けば九人は「登山道」と答えます。

でしよ。山に登る人のほとんどが登山道を

通っていることだと思います。では次の質問で

す。それは誰が整備していますか。残念なが

ら考えたことすらない方も多いと思います。

では屋久島の登山道整備はどうなっているの

でしよ。うか。ヤクスギランドを例に私が父が

「聞いた私を基に紹介した」と思います。

私の父の本職は山岳ガイドをしています。

ですが、登山道整備の仕事にも携わっています。

す。最近屋久杉ランドの登山道整備を行っ

ています。場所は百五十分コースのひげ長老

周辺です。登山道整備の主な目的は、登山道

を歩きやすくすること、植生保護です。植

生保護は具体的に言うとも木の根を保護した

斜面が崩れるのを防いだりすることです。

登山道整備では、基本的に材料を現地で調

達します。しかし、屋久島はコケが多く生息
しているため、使える材料が限られていま
す。さらに、必要な部分に程度よく合うものを探
すのも難しいようです。

登山道整備の難しいところは他にもありま
す。それは、現場に合わせて整備の内容を変
える必要がある、とても頭を使うことです。
自然界において全く同じということはありません。
せむ。でも、現場ごとに、長さを測り、
材料を集め、なにかつ歩きやすさも植生保護
も同時進行で進めていくということも、そ
して頭を使う仕事なのです。

先ほと言ったように登山道整備では頭を使
います。でも、登山道「整備」のため頭を
使うだけでは前に進めません。材料の運搬や
施行にはどうしても体を使った肉体力働が必
要になります。肉体力働は一人では大変です。
必ずので登山道整備に参加している、メンバ
ー全員が力が必要。最後線まで働く父も、
みんなのマンパワーがとても大切と言っ

ていました。いる人たち全員のかを合わせて一つのものをつくり上げてゆく、これこそ人の働くことの美しさの一つと言えるのではたいていでしょうか。さらに、先ほど頭を使うと言いましたか、実はこれにもマンパワが必要なのだと私の父は言っています。現場にたいして臨機応変に対応するには、リーダーだけの考えではうまくゆきません。メンバー全員で知恵を出し合い、その場に応じた最適解を見つけ出すことか、うまくやるコツなのだと父は言っています。父はこの仕事に関わるようになったてから、みんなで物事を進めていく力そしてその大切さを再認できたようです。しかし、この仕事はいちゆる「裏方」の仕事です。ですが、かイドの方にお客さん上山を案内するようになるほとんど登山道を使います。そのため、裏方の仕事でありながら、全体に無くてはならないとても大切な「裏方」です。

さらに、父の本職は山岳ガイドです。自分

がお客さんを案内する登山道を自分で整備しているのです。そのため、父は登山道整備を
しているとき、普段自分たちがお客さんを案内
している道を、どうすれば歩きやすく、な
おかつ自然への配慮との両立ができるのかと
常に考えているそうです。

屋久島の産業は山岳関係の観光業に支えら
れていきます。そのためには土台となる登山道
を歩きやすく、植生保護を両立させながら管
理、整備することか不可決です。これはヤク

スギランドだけでなく、他の山でも一緒です。
どうでしょうか。みなさんは、このような
屋久島の裏方について考えたことがあります
か。世の中のこととはこのような裏方の方たち
のおかげで成り立っています。みなさんも身
の周りで活躍している裏方たちについて考え
てみてはいかがでしょうか？